

海洋プラスチックごみ問題

～ プラスマLifeさが 豊かな自然を未来へつなぐ ～

1. 海のプラスチックごみは何が問題？

きちんと処理されなかったプラスチックは…

ポイ捨てや屋外で放置された
プラスチックごみが散乱



雨や風によって、川へ流れて海へ



出展：環境資料



世界では年間約800万トンものプラスチックごみが海に流れ込んでいると推計

生態系への影響
環境生物への影響



出典：環境省



出典：タイ天然資源環境省
クジラの胃の中から大量のビニール袋

クジラやウミガメ、イルカ、海鳥など、海に漂流しているビニール袋などのプラスチックを食べたり、プラスチック製の網が体に絡んだりして、死んでしまったり傷ついています。

2. プラスチックごみ

海のプラスチックごみのほとんどは陸から出たもの

プラスチックは、軽くて丈夫で様々な製品に加工しやすいなど多くのメリットがあり、様々な製品に使われています。



海のプラスチックごみが増えている！

増える原因は…

- ✓プラスチック生産量の増加
- ✓適切な処理ができていない
- ✓プラスチックが自然で分解されることがない

このまま増え続けると・・・

2050年には海のプラスチックごみは
魚の量を上回ると予測



3. マイクロプラスチックごみ

特に問題！！

マイクロプラスチック
とは？

海に放出したプラスチックごみの多くは、海中に浮いたり流れたりする中で、波や紫外線などの影響を受け、小さなプラスチックの粒子となります。5mm以下の粒子となったプラスチックは、「マイクロプラスチック」と呼ばれています。

マイクロプラスチックは
どうなるの？

一度自然に放出されたプラスチックは、分解されないため、その多くが数百年以上残り続けると言われています。海の生き物の体内に取り込まれ、また、海からとれる食べ物を通じて人体にも影響があるといわれています。

LTO ごみ拾いに参加しよう！鳥栖から海にごみは行かせない！

LTO (LEADS TO THE OCEAN) とは？

「海にごみは行かせない！」を合言葉に、スポーツと清掃活動を軸にした、海の環境問題に取り組む活動です。鳥栖市では、サガン鳥栖ホームゲームの日に、スタジアム周辺で環境にやさしいごみ袋とサガングルーパーのトングを利用したごみ拾いを行っています。みんなでごみ拾いをし、鳥栖から海にごみは行かせないようにしていきましょう！



STEP 1: 道具を借りよう

サガングルーパーのトングと環境にやさしいゴミ袋を受け取りましょう。どなたでも参加いただけます。

STEP 2: ゴミ拾いをしよう！

スタジアム周辺をキレイにしましょう！マイペースに楽しく活動してください。

STEP 3: スタンプをもらおう

参加すると1つスタンプがもらえます。たくさん集めて、目指せゴミ拾いマスター

みんなの住む街を【LTO ごみ拾い】できれいにしよう！
目指せ！ゴミ拾いマスター！

※ホームゲーム最終戦では、ごみ拾いマスターの表彰式をピッチ上で実施予定

LTOについて、詳しくは

サガン鳥栖 HP

をチェック！



海洋プラスチック問題を考えよう！PLAPLA(プラプラ)がオープン！

PLA PLA (プラプラ) とは？

佐賀県唐津市・波戸岬に世界海洋プラスチックプランニングセンター、愛称“プラプラ”が令和8年6月7日にオープンしました。この施設は海洋プラスチック問題をテーマにした体験型ミュージアム＆ラボラトリーです。漂着ごみや海流の展示、研究者による調査展示、海洋プラスチックを再生するラボ、現場を観察するフィールドワークなどを通して、海と人とのつながりを体験しながら、これからの暮らしと未来を共に考える施設です。



PLAPLAについて
詳しくはプラプラ
HPをチェック！



すぐ食べるなら てまえどり隊



鳥栖市・鳥栖市環境保全協議会、
サガン鳥栖、SAGA旭光スプリングスは
食品ロス削減のため、「てまえどり運動」を推奨します！